



意見文の例

私たちとインターネット

夏川 まゆ

インターネットは、私たちの生活に欠かせないものになっている。令和二年度の内閣府の調査によると、小学生の九十・五パーセントが、ふだんの生活でインターネットを利用しており、中学生では九十七・四パーセントにもなるそうだ。インターネットがこのようにふきゅうしたのはなぜだろうか。そして、私たちは、インターネットとどうつき合っていけばいいのだろうか。

まず、インターネットを活用することで、自分の知らない情報を簡単に調べられることがあげられる。私も、家や学校で何かを調べるときにインターネットをよく使っており、とても便利である。また、親や友達、遠くにいる人とも、いつでもコミュニケーションをとることができることも、理由の一つだろう。

しかし、インターネットには注意しなければならないこともある。それは、正しくない情報がついていたり、相手が見えないために、トラブルに巻きこまれたりする可能性があることだ。

そこで、私はインターネットを使う際のルールを、「利用するとき」と「発信するとき」に分けて考えてみた。「利用するとき」には、インターネットにのっている情報をすぐに信じないようにすることだ。情報の発信源や根拠きょはなんなのか、どのような目的で書かれたものなのかなどを、よく確かめるようにしたい。また、「発信するとき」には、自分が書いた文章を相手がどう受け止めるかについて、よく考えてから発信するようにすることが重要ではないだろうか。令和二年度の「インターネットの利用内容」の「コミュニケーション」の利用率を見ると、小学生は四十一・六パーセントであるのに対し、中学生では七十七・二パーセントにもなっている。これから、私たちが発信する側になる機会が増えることを考えると、大変重要なことだといえるだろう。また、むやみに自分や友達の個人情報発信しないことも大切である。

確かに、これらのルールはあたりまえと思われるかもしれない。しかし、実際にまちがった情報にだまされたり、メールのやりとりでトラブルにあったりしている人が大勢いる。

このように考えると、インターネットの利用が簡単にできる今、あたりまえのことこそ大切にしなければならぬ。そして、これからも自分なりのルールを守って、インターネットを上手に活用していきたい。

〈出典〉「令和二年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」内閣府ホームページ
<https://www.....jp>